

# 病院看護師出向研修事業実施要項

## 1 目的

医療ニーズの高い入院患者が安全・安心に在宅療養に移行するには、在宅療養に習熟している病院看護職員による適切な退院支援等が重要となる。病院看護職員が一定期間、訪問看護ステーションに出向し、訪問看護への理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括ケアシステムを担う関係諸機関との連携の実際を学ぶ。

## 2 目標

### 1) 研修生

- (1) 在宅における看護の役割を理解し、必要な支援について学ぶ。
- (2) 事例を通し、患者の療養環境や家族機能のアセスメントができる。
- (3) 地域での支援やネットワーク、チーム医療について学ぶ。

### 2) 受入訪問看護ステーション

研修生が上記(1)～(3)を達成できるように指導する。

## 3 研修方法

病院看護師が一定期間(3～6か月程度)訪問看護ステーションに出向し、下記のとおり研修を行う。

- 1) 訪問看護師との同行訪問。
- 2) ケースの概要や訪問看護の内容について、事前にカルテより情報収集する。
- 3) 研修内容、学んだことを研修記録(記録様式1)に毎日記録し、管理者または指導者に報告する。
- 4) 訪問看護における看護実践について、事例のまとめ(記録様式2)を通して理解を深める。
- 5) 1事例について、訪問看護導入から今後の課題まで一連の過程を情報収集し、事例のまとめ(記録様式2)を作成し、研修最終週にステーション内で発表する。
- 6) 研修終了までに、研修のまとめ(記録様式3)を作成し、今回の研修での学びについて管理者および指導者に報告する。
- 7) 受入訪問看護ステーションは、指導記録(様式1)を毎日記録し、実績報告書に添付する。
- 8) 必要に応じ、退院支援に係る会議への参加や他サービスの見学等を行う。

## 4 評価方法

訪問看護業務チェックリスト(別添)を使用し、自己評価及び指導者評価を行う。

## 5 記録用紙等

下表の用紙を使用する。研修終了後、富山県看護協会に提出する。

研修生	受入訪問看護ステーション	共通
記録様式1 研修記録	様式1 指導記録	訪問看護業務チェックリスト
記録様式2 事例のまとめ		
記録様式3 研修のまとめ		

## 6 参考

訪問看護出向事業ガイドライン(公益社団法人日本看護協会)

[https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/homonkango\\_shukko.pdf](https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/homonkango_shukko.pdf)